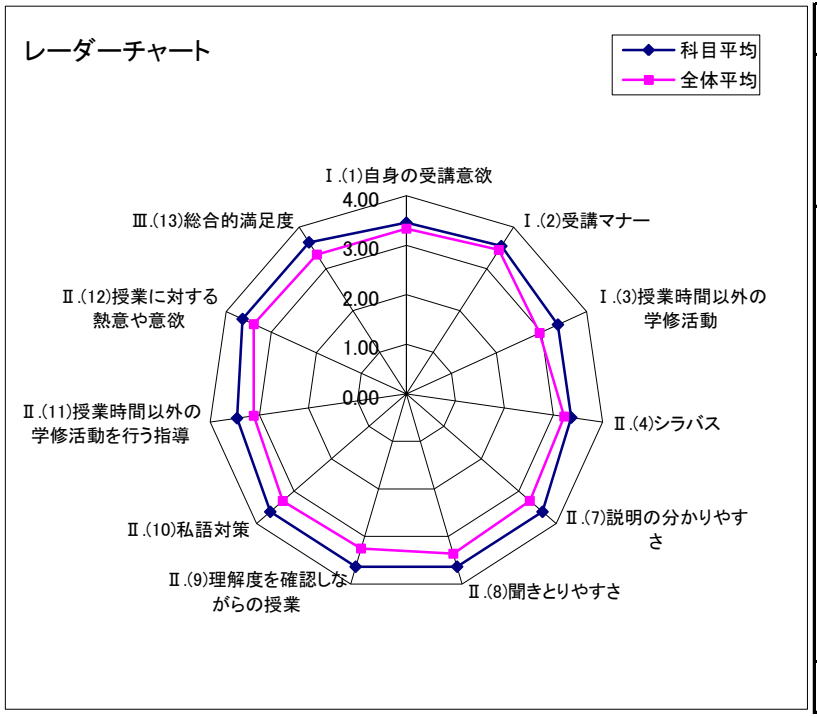
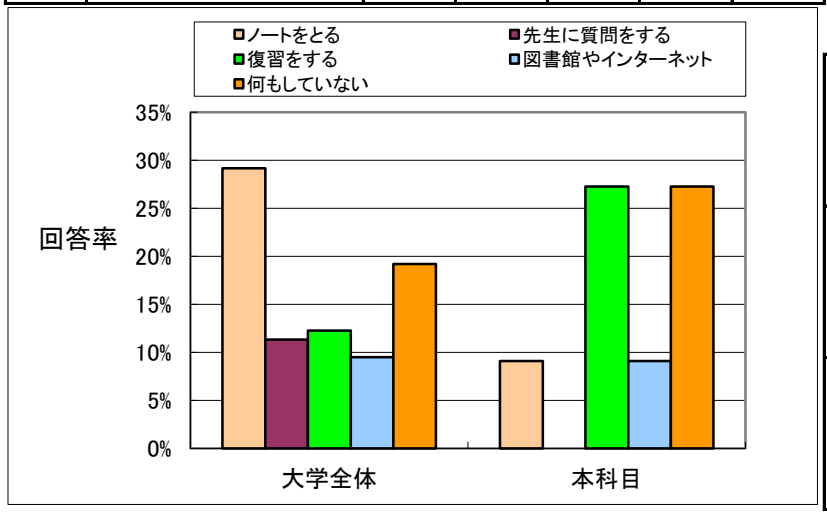
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.45	3.33
	Ⅰ.(2)	3.55	3.45
	Ⅰ.(3)	3.36	2.96
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	3.36	3.22
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	3.64	3.30
	Ⅱ.(8)	3.64	3.36
	Ⅱ.(9)	3.64	3.25
	Ⅱ.(10)	3.64	3.30
	Ⅱ.(11)	3.45	3.11
	Ⅱ.(12)	3.64	3.39
総合評価	Ⅲ.(13)	3.64	3.34

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

<※複数選択可項目>		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(14)	授業を理解するための工夫	9.1%	0.0%	27.3%	9.1%	27.3%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	3.45	3.25
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(12)	3.57	3.28
総合評価 Ⅲ.(13)	3.64	3.34

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2013年度　後期
時間割番号	1333
科目名	基礎数学Ⅱ
教員名	

①授業計画の達成度について

担当教員として、殆どの受講生は半期のあいだに、確実に数学力がアップしたことを確信している。この授業は最後の定期試験で厳格に一定の得点を取らなければ単位が取得できない仕組みになっている。そのため、身についた数学力が惜しくも単位の取得に反映できなかった受講生が多かったことは残念でならない。また受講生の理解力や習熟度に差があるため、クラス人数がもう少し少なければ対応もよりきめ細かくできると思われた。アンケートは、全体に想定以上の評価と考えている。

②授業の進め方について

シラバスの内容にしたがって授業を進めていたが、最優先したのは、受講生の理解状況を確認しながら進行すること、および最後の試験で合格することを目標にすることであった。また、受講生の反応を見ながら状況に応じて、変化をつけて授業を進めた。また、理解を深めたり、興味を持たせるために、テキスト以外の問題もときおりまじえた。授業の最後のほうでは、試験対策としても基礎力重視をしたため、テキストの一部については対応しきれなかった。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

テキストの問題数が多いので、効率よく効果的に取り組むための問題の選択をさらに考えていきたい。また、必要な数学力を身に着けてもらうとともに単位取得を目指す授業を心掛けたい。

奈良産業大学